

# 平成14年度 21世紀COEプログラム 採択拠点の採択理由

## 【情報・電気・電子】

拠点のプログラム名称	機 関 名	拠点リーダー名	採択理由
知識メディアを基盤とする次世代ITの研究	北海道大学	田中 謙	知識メディアの研究と量子エレクトロニクスの研究の各事業推進担当者の研究実績には高いものがある。これらを融合させて新しい分野、スマートダストとその応用など、を開拓して一層の展開を図ろうという構想であり、発展が期待される。
新世代情報エレクトロニクスシステムの構築	東北大学	内田 龍男	情報技術分野のキーデバイス開発において世界的な実績をあげている。情報技術とネットワーク技術の融合による新しい研究領域の発展が計られ、世界最先端の研究成果が生み出されることが期待できる。また、アルゴリズム・アーキテクチャ・デバイス・材料の研究者が連携し研究拠点を形成する方向性と意義を明確に示していることを評価する。
情報科学技術戦略コア	東京大学	田中 英彦	将来を見据えたオーソドックスな研究方向で優れた構想である。各分野での実績もあるので、個性を重んじた研究による独創性の芽を摘まないように配慮しながらH/Qによって各分野間の協力・融合を推進し、世界の一流拠点として発展することが期待されている。
未来社会を担うエレクトロニクスの展開	東京大学	保立 和夫	ナノエレクトロニクス、集積エレクトロニクスにおいては世界的な研究実績を有する。これらの研究分野の連携と融合に基く相乗効果によって、当該分野において世界最高水準の拠点形成が図られることを期待する。
フォトニクスナノデバイス集積工学	東京工業大学	荒井 滋久	フォトニクスナノデバイスの研究実績は世界的に優れており、拠点形成計画も具体的に示されている。広い視野に立ってフォトニクスナノデバイス集積工学の領域を進展させ、この分野において新たなブレイクスルーやイノベーションを達成できるポテンシャルを有する。
情報通信技術に基づく未来社会基盤創生	横浜国立大学	河野 隆二	無線通信技術、光技術、セキュリティ技術などの分野で国際的大賞受賞など世界水準の実績を納めている。移動通信分野などで世界的COEを形成するグループと連携した大学院によるベンチャービジネス(VB)気質の育成、学生検定制度など、世界的に高水準の若手研究者の育成、支援が計画されたハイレベルの教育構想である。
先端プラズマ科学が拓くナノ情報デバイス	名古屋大学	菅井 秀郎	プラズマ科学の分野において世界水準の研究成果が認められる。プラズマ科学の研究者がナノ情報デバイスの研究者と連携し、デバイス分野のニーズに基くプラズマプロセス研究の方向性を見極め、世界をリードする成果を挙げることが期待される。

【情報・電気・電子】

拠点のプログラム名称	機 関 名	拠点リーダー名	採択理由
社会情報基盤のための音声映像の知的統合	名古屋大学	末永 康仁	音声と映像の各分野の事業担当者の研究実績には高いものがある。これらの分野を融合させた新しい分野を開拓して一層の展開を図ろうという構想であり、その発展が期待される。若手研究者の育成と博士課程学生の増強策についても期待する。
インテリジェントヒューマンセンシング	豊橋技術科学大学	石田 誠	これまでの研究実績はおおむね世界水準にある。拠点形成の分野と目的を絞り込み、デバイスとシステム研究分野の繋がりも具体的に示されている。世界水準から見た研究の独創性の追及により、国際的に高い評価を受ける研究拠点の形成を期待する。
知識社会基盤構築のための情報学拠点形成	京都大学	上林 弥彦	情報社会基盤構築に関する各分野の実績も高く、世界をリードしていることが高く評価された。高いモチベーションを維持して、いっそう世界のピークをリードすることが期待されている。また、学問的研究をベースに産業界とのインタラクションを活発にして産学連携を図ること、および本拠点で計画している教育プログラム、若手育成プログラムを確実に実行して、この分野の大学院生を質量ともに増強することが期待されている。
電気電子基盤技術の研究教育拠点形成	京都大学	荒木 光彦	研究実績はおおむね世界水準にあり、優れた研究の芽が出ている。材料、デバイス、システム研究の相互作用によって生み出される新しい研究領域の開拓が求心力をもって推進され、世界的に認められる研究拠点の形成を期待する。
ネットワーク共生環境を築く情報技術の創出	大阪大学	西尾 章治郎	ネットワークとデータベース分野などにおいて、国際的受賞など研究実績ある構成員を有し、高いポテンシャルがある。若手研究者の積極的任用と異分野技術との融合、ソフトウェアとネットワーク両面からの人材育成プログラムによる学生育成などユニークで活力ある教育構想である。
ユビキタス統合メディアコンピューティング	奈良先端科学技術大学院大学	千原 国宏	次世代インターネットと各種メディア処理において国際的受賞など高い水準であり、人的に充実した研究体制と高い研究ポテンシャルを有している。大学院大学の特徴を生かした将来構想をもつ学長のリーダーシップのもと、世界の最高水準となることを期待する。
テラビット情報ナノエレクトロニクス	広島大学	岩田 穆	これまでの研究実績はおおむね世界水準にある。研究拠点としての分野も焦点が絞られており、目標も具体的に示されている。デバイス研究者がLSI設計、システム応用研究者と深く連携し、世界水準の研究拠点を形成することを期待する。

【情報・電気・電子】

拠点のプログラム名称	機 関 名	拠点リーダー名	採択理由
システム情報科学での社会基盤システム形成	九州大学	前田 三男	システムLSI研究などいくつかの分野で国際的受賞など高い水準の研究実績を挙げ、拠点としてのポテンシャルを有している。総花的にならないように、すでに一定の成果が認められているシステムLSI研究との連携により、強いところを伸ばし、世界最高水準となることを期待する。
アクセス網高度化光・電子デバイス技術	慶應義塾大学	真壁 利明	それぞれの研究分野における実績はおおむね世界水準にある。研究拠点として、デバイスとネットワーク技術の融合とその相乗効果が生まれることが成功の鍵であり、研究グループが目標を共有し、世界水準の拠点形成が実現されることを期待する。
電子社会の信頼性向上と情報セキュリティ	中央大学	辻井 重男	電子社会において非常に重要な信頼性・情報セキュリティ分野に焦点を定め、各サブテーマごと、年度ごとに明確な課題を設定した、極めて明確な拠点計画であり、成果が期待できる。世界的に実績のある暗号理論分野を中心に本拠点をカバーする研究者の育成と、拠点維持のための博士課程の充実による世界拠点への躍進を希望する。
プロダクティブICTアカデミアプログラム	早稲田大学	村岡 洋一	国際的受賞者など強力な陣容を有しており、世界レベルの拠点として高いポテンシャルを有している。また、国際的な視野で積極的な人的交流による研究教育の推進を行っている点も高く評価できる。アーキテクチャとコンテンツ両面に強い学生の育成というユニークな計画の推進とともに、博士課程学生数の増大もあわせて期待したい。
ナノファクトリー	名城大学	飯島 澄男	これまでの研究実績はおおむね世界水準にあり、拠点リーダーの実績は世界的である。ナノファクトリーという今日的テーマに焦点を絞り、具体的な研究成果によって世界をリードする研究拠点が形成されることが期待できる。
マイクロ・ナノサイエンス・集積化システム	立命館大学	杉山 進	拠点の目指す、エネルギー、情報を微小空間内に集積化した「スーパーICチップ」の創製は新しい分野を拓く技術であると思われる。事業分担者には優れた業績のある教授に加えて、関連分野で世界的な成果を既にあげている若手教員も多数加わっている。さらに、学内に関連の研究センター群が整備されており、拠点形成の成果が期待できる。